



香曾我部義則先生の今月のカルテ ③6

慢性痛とペインクリニック

■プロフィール こうそかべ・よしのり 昭和54年に岡山大学医学部卒業後、同大学麻酔科・蘇生科講師、岡山労災病院麻酔科第一部長に。平成16年から現職。日本麻酔学会専門医。日本ペインクリニック学会認定医。現在日本麻酔学会、日本ペインクリニック学会、日本慢性疼痛学会、国際疼痛学会などに所属

梶木病院麻酔科・ペインクリニック科の香曾我部義則先生が、痛みの治療について分かりやすく説明してくれるコラム。今回は、「痛みを科学する」うえで大切な痛みの評価法についてです。



痛みの原因となる病気
 ① 痛みの原因となる病気
 ② 痛みの原因となる病気
 ③ 痛みの原因となる病気
 ④ 痛みの原因となる病気
 ⑤ 痛みの原因となる病気

基準はなく、正確な評価が難しい痛みの度合い
 治療効果を判定するためにも客観的評価は重要
 ヒリヒリ、ズキズキ、は、血液検査、レントゲ
 キリキリ、ズキンズキン、ン写真、CT、MRIな
 締め付けられる、焼やけ
 るような、やっかいな、
 耐え難い、不愉快ななど、
 痛みの表現はさまざま
 すが、残念ながら痛みの
 度合いをすぐ理解できる
 基準はありません。

梶木病院(西花尻)
 2003-0305154

動作での評価ではプリ
 ンスヘンリーペインス
 ケールが使われます。咳
 嗽(がいそう)時にも痛
 みなし(0点)、深呼吸
 時に痛みはないが、咳嗽
 時にはある(1点)、安
 静時には痛みはないが、
 深呼吸時にはある(2
 点)、安静時に弱い痛み
 がある(3点)、安静時
 に強い痛みがある(4点
 の0~4点で表します。